

無理のない範囲で協力ください

今夏の節電対策

今夏の東京電力管内における電気の供給余力の見通しは、251万キロワット(予備率4・5%)と、比較的余裕が見込まれています。

しかしながら、発電所のトラブルや急激な気温変化による需要増加の可能性があることから、日常生活や経済活動に負担が生じない、無理のない範囲での節電にご協力をお願いいたします。また、真夏の日中に幼児や高齢者がいる部屋の冷房を止めて熱中症にならないようにしましょう。

家庭での節電メニュー

◆リビング

- エアコンの設定温度は、28℃を心掛ける。↓**削減率10%**(26℃を28℃にした場合)
- すだれやよしず、緑のカーテンなどで窓からの日差しを和らげる。↓**削減率10%**
- 無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。
- ↓**削減率50%**

- テレビは省エネモードに設定し、見ない時は消す。↓**削減率2%**

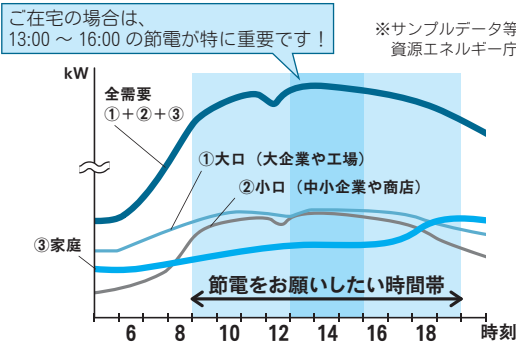
◆台所

- 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉の開閉を少なくし、食品を詰め込み過ぎない。↓**削減率2%**
- 電気炊飯器は早朝に1日分まとめて炊き、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。↓**削減率2%**

◆トイレ

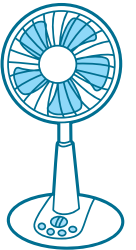
- 温水洗浄便座は、温水のオフ機能、節電機能を利用する。↓**削減率1%**

※サンプルデータ等より資源エネルギー庁推計

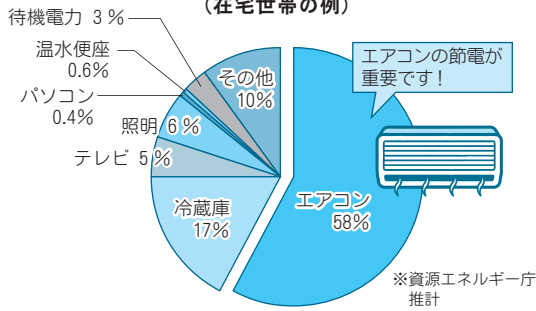


夏の昼間の電力使用の特徴としては、日中(13時～16時頃)にピークを迎える傾向が

あり、特にこの時間帯の節電が重要となります。



夏の昼間(14時頃)の電気機器の使用例(在宅世帯の例)



節電にひと工夫

契約電力の見直し…契約の基本アンペア数を1段階下げると(例40A↓30A)だけでも大きな効果があります。

省エネ家電の活用…買い替え時期の家電は、「統一省エネラベル」を目安に省エネ家電への買い替えを検討しましょう。

同じ部屋で過ごす…家族が一つの部屋で過ごすようにすることで、同時に使用するエ

コンや照明を減らすことができ、消費電力の大幅な削減につながります。

衣類・寝具の活用…吸汗・蒸発機能や冷感・涼感機能といった高機能素材を使用した衣類や寝具を選び、日中や夜間を快適に過ごしましょう。

事業所での節電メニュー

◆空調

- 使用していないエリアは、空調を停止する。
- 電気以外の方式(ガス方式など)の空調を保有している場合は、それらを優先する。

◆照明

- 高効率蛍光灯やLED照明に交換するよう努める。

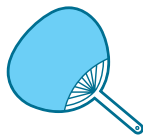
◆生産設備など

- 適切、定期的なメンテナンスを行い、ロスの低減を図る。

◆調理機器など

- 調理機器や業務用冷凍庫、冷蔵庫の設定温度の見直しを図る。

節電に関する情報



- 政府の節電ポータルサイト <http://seisuden.go.jp/>

説明会のご案内

「省エネルギーセンター」
<http://www.ecci.or.jp/shindan/index.html>

「緑のカーテン」コンテスト

つる性植物を利用した「緑のカーテン」コンテストの概要は次の通りです。



◆募集部門

省エネアイデア部門：カーテン設置に際して、特に省エネ面を重視して育成をしたもの
デザイン部門：カーテンの大きさや形など、特にデザイン面を重視して育成をしたもの

◆審査・表彰

各部門で、優秀作品賞(5点程度)を決定し、受賞者に賞状および副賞を進呈します。また、全応募作品に対して、参加賞を進呈します。

◆応募方法など

サービス判程度のカラープリント写真(カーテン全体、アピールポイントがわかるもの)を所定の応募用紙に添付して、9月21日(金)までに環境生活課へ提出してください。詳しくは、左記までお問い合わせください。

環境生活課環境班

☎73・0088

平成23年度

匝瑳市行政改革の取組結果



平成23年度における匝瑳市の行政改革は、これまでの行政改革の推進項目を引き継ぎ、常に効率的な行財政運営に努め、将来にわたって持続可能で安定した組織の構築に向けて推進してきました。

その取組内容として、人件費の抑制や事務事業の見直しなど43項目の改革項目を掲げ、33項目を実施し、約4億5千万円の行政改革効果額を生みましましたので、取組結果の概要をお知らせします。

◆定員管理

○職員数の削減(▲6,055万円。病院医療職を除く)

なお、合併時から平成24年度までの職員数の推移は次の通り。

時 点	職員数	削減数	削減率
平成18年4月1日	390人	—	—
平成19年4月1日	377人	▲13人	▲3.3%
平成20年4月1日	364人	▲13人	▲3.4%
平成21年4月1日	352人	▲12人	▲3.3%
平成22年4月1日	338人	▲14人	▲4.0%
平成23年4月1日	331人	▲7人	▲1.8%
平成24年4月1日	321人	▲10人	▲2.6%
合 計		▲69人	▲17.7%

◆給与の適正化

○市長、副市長、教育長の給料月額および期末手当を削減(▲211万円)

	給料月額	期末手当
市 長	▲10%	▲5%
副市長	▲5%	▲5%
教育長	▲5%	▲5%

○管理職手当を5%削減(▲149万円。医師を除く)

○時間外勤務手当の削減(▲2,841万円)

◆組織機構の見直し

○重要政策などの推進に向けた組織体制とするため、企画課内にまちづくり戦略室を設置した(H23.4.1)。

○生涯学習に係る組織体制の充実・強化を図るため、教育委員会生涯学習課生涯学習室に生涯学習班を設置した(H23.4.1)。

○市民の生涯学習の推進および生活文化の向上を図るため、匝瑳市野栄農村環境改善センターを廃し、匝瑳市生涯学習センターを設置した(H23.7.1)。

◆事務事業の見直し

○子ども手当制度の創設により、こんにちは赤ちゃん給付金支給事業を廃止した(▲588万円)。

○市税納期前納付奨励事業は、特別徴収による納付が対象外となることから不公平感が生じており、県内他市町村でも廃止の方向にあるため、当該事業を廃止した(▲1,403万円)。

◆民間委託などの推進

○コミュニティセンター(9施設)、心身障害者福祉作業

所(現・就労支援事業所)、ふれあいパーク八日市場において指定管理者制度を実施

○学校用務員、市バスの運転業務を全面委託

◆第三セクターなどの見直し

○匝瑳市土地開発公社の解散

○一般会計から病院会計への基準外繰入を抑制(▲4,662万円)

○市民病院において、病院改革プランの具体的な取組事項について推進した。主な取り組みは次の通り。

- ・乳幼児の預かりサービスの実施
- ・内臓脂肪CT検査の実施
- ・アロママッサージの実施
- ・医師確保を図るため医師紹介コンサルタント業者13社と契約
- ・女性外来の新設
- ・新たに1人の女性医師(非常勤)の確保
- ・MRI装置、X線テレビ装置の更新
- ・救急処置室の拡充

◆財政の健全化

○市税の確実な徴収に努めるとともに、市民負担の公平性の確保の観点から、滞納額の削減に努めた。滞納繰越分の徴収額は次の通り。

市税	1億2,050万円
国民健康保険税	1億3,773万円
保育所保育料	284万円
給食費	120万円
市営住宅使用料	83万円
合 計	2億6,310万円

○未利用市有地の売却(711万円)

○広報そうさ、ホームページ、市内循環バスに広告を掲載(42万円)

○納税貯蓄組合交付金など6件の補助金などを削減した(▲190万円)。

○「枠配分方式※」により事務事業の見直しを行った(▲2,200万円)。

※「枠配分方式」とは、その年度に見込まれる予算枠をあらかじめ各課に配分し、その範囲内で予算編成をする方式です。

問 総務課庶務班 ☎73-0084